

平成 30 年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

施設名	大和市柳橋ふれあいプラザ
指定管理者	株式会社オーエンス 代表取締役 大木 一雄
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

・施設の運営

開館状況：毎週月曜日、月曜日が国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときは当該日の直後の休日でない日、大和市民まつりの日、年末年始(12月29日～1月3日)及び施設点検日を除く毎日。

なお、平成 30 年度は空調設備改修工事のため 11 月から 1 月までの 3 か月間休館しました。

開館日数：232 日（平成 29 年度開館日数 305 日）

開館時間：午前 10 時～午後 9 時

・施設使用の受付

年間使用者数

総使用者数	48,426 人
浴室使用者数	29,464 人

・使用者へのサービス

加湿器設置、老眼鏡設置、手指消毒用アルコール設置、談話室に上着掛けを設置、雨天時入口足拭きマット設置、雨天時傘の取違い防止のための氏名記入用紙・テープの設置、傘の貸し出し、自転車空気入れの貸し出し、携帯カレンダー発行、利用者から提供を受けた作品等のロビー展示など。

・施設の補修、改善

浴室脱衣所椅子の増設、入口足拭きマットを躓き防止テープで接着、バレルローラー椅子及び浴室脱衣所椅子に転倒防止用滑り止めシートを貼付、館内消臭剤の設置・交換、館内害虫駆除剤の設置・交換など。

・自主事業の実施(催事開催 10 件・602 名参加)

事業名	開催日時	参加者数
映画会	4月22日(日)14時～16時	43名
ふれあい落語会	5月19日(日)13時30分～16時	71名
	10月20日(土)13時30分～16時	74名
ふれあい保健室	6月21日(木)10時～12時	22名
料理教室	7月18日(水)10時30分～13時	10名
エコ布アクセサリ教室	8月19日(日)10時～12時	9名
ふれあい秋まつり	9月23日(日)11時～16時	179名

事業名	開催日時	参加者数
ふれあい将棋大会	2月17日(日)10時30分～16時	24名
ふれあい囲碁大会	3月17日(日)10時30分～16時	15名
プラザ感謝デー	3月24日(日)11時～15時	155名

【事業実施状況に関する補足説明】

- ・空調設備改修工事のため、11/1 から 1/31 まで休館したことにより、年間総使用者数は前年度に比べて 16,669 人 (26%) 減少しました。
- ・一日あたりの平均総使用者数は 209 名であり、前年度に比べ 4 名(約 2%)減少しました。新規に利用者カードを作成した人数は 235 名であり、前年度の 326 名と比べ、91 名減少しました。
- ・浴室使用者数は、前年度に比べ 11,372 名(約 28%)減少しました。浴室の 1 日あたりの平均使用者数は約 127 名で、前年度に比べ 7 名減少しました。
- ・会議室等使用者数は、前年度に比べ 3,512 名(29%)減少しました。会議室等の 1 日あたりの平均使用者数は約 38 名で、前年度に比べ 2 名減少しました。
- ・使用料収入の総額は、1,673,675 円となり前年度の 2,464,850 円に比べ 791,175 円(約 32%)の減収となりました。なお、この使用料収入は市の歳入になります。
- ・自主事業（催事）参加者の合計人数は 602 名で、前年度の 647 名より減少したものの、催事 1 件あたりの平均参加者人数は約 60 名で、昨年度の 49 名より増加しています。

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に支払った金額)	13,002,120	人 件 費 (指定管理者が雇用した社員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	11,500,032
そ の 他	0	施設管理費等 (施設の清掃や、保守点検、修繕に支出した金額)	1,128,404
収入計 (①)	13,002,120	支出計 (②)	12,628,436

収支決算 (①－②)	373,684
------------	---------

【収支決算に関する補足説明】

- ・収入については、前年度に比べ 2,549,880 円減少しました。理由は、3か月間の休館に伴う指定管理料の減少です。
- ・支出については、前年度に比べ 1,916,537 円減少しました。主な理由は、3か月間の休館に伴う人件費及び事業費の減少です。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、令和元年7月4日に大和市環境審議会からの意見聴取を行いました。

評価の視点1:施設を使用する者に対し、平等な使用の確保及びサービスの向上が図られたか
<ul style="list-style-type: none">・施設の使用許可事務については、書類審査の結果、条例等に則り適切に行われていることが確認できました。・自主事業については、「映画会」「秋まつり」「落語会」「将棋大会」「囲碁大会」など、年齢を問わず楽しめる事業を展開しています。周知にあたっては、施設内での掲示や利用者へのチラシ配布といった地道な周知活動が効果をあげたほか、近隣自治会へのポスター掲示や回覧チラシでの案内、広報やまとへの掲載など、外部への広報活動にも力を入れました。・利用者の要望を日頃からこまめに聞き取り、要望に応じた備品を設置するなどの取り組みを行ったほか、催事ごとに参加者へのアンケートを実施し、その意見を事業に取り入れるなどサービスの向上に努めました。
評価の視点2:施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか
<ul style="list-style-type: none">・「落語会」「映画会」は前年に続き好評で、恒例行事として定着しています。・「ふれあい秋まつり」では、年齢を問わず楽しめる射的などのゲームコーナーを設け、幼児連れの家族などの多くの参加を得ました。当行事のためにプラザに初めて来館した人数は日頃の利用者の数を大幅に上回り、施設の認知度を高める主要行事となっています。・利用者から、絵画、写真、植物、手工芸品等の作品の提供を受けて季節に合わせて館内に展示したことで、芸術鑑賞の機会を創出するとともに、利用者の施設への愛着を深め、作品作りに励む各種サークル等の活動の活性化にも寄与しました。・施設の設置目的を踏まえ、今後も市民の健康増進、福祉、交流活動に貢献するコミュニティ施設としての事業運営に期待します。
評価の視点3:施設の適切な維持及び管理が図られたか
<ul style="list-style-type: none">・施設の管理、保守点検等は仕様書に沿って適切に行われています。・浴室については、定期的に水質検査等を実施し、衛生面の管理を適正に行っています。・浴室ロッカーの鍵やドライヤーなど使用頻度の高いものは点検を行い、積極的に修繕をしています。また、冷蔵庫の清掃やカバー等の交換クリーニングなど衛生面にも配慮しています。・節水や節電、資源の分別に取り組むとともに、掲示物などで利用者に対しても環境負荷低減の周知を図っています。
評価の視点4:施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか
<ul style="list-style-type: none">・浴室使用者に、受付での声掛けや掲示物などでの注意喚起を行っているほか、ロビーに設置した血圧計の利用促進、浴室内での巡視など、適切な人員配置により利用者の安全確保に努めています。・日本赤十字救急法救急員やサービス介助士2級などに認定された従業員を配置するとともに、認定資格の更新や新たな講習会参加や研修を積極的に行っています。また、館内の非常設備やAED等の点検を毎月行い、緊急時に迅速かつ適切に対応できる体制づくりに努めています。・施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況であると判断しています。また、指定管理者本社経理部門の内部監査員による定期監査の実施など、適正な管理を行っています。